様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日　2024　年　1　月　18　日

１．職名・氏名　准教授・山下知晃

２．学位　学位　博士、専門分野　会計学、授与機関　京都大学、授与年　2017

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 簿記原理（4 単位）、主たる配当年次：1 年生
②内容・ねらい 本講義では、簿記の初学者を対象に簿記の基本的な仕組みや各種重要な取引の処理方法などを学習する。受講生が本講義を受講することで、簿記の入門的な知識から日商簿記 3 級程度の知識を身につけることができるように講義する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受講生が知識を定着させることができるようにするための工夫として、オンデマンドの講義ビデオ教材の利用や毎回講義後のアンケートを実施した。また、Google form や Slido などのツールを利用し、受講生からの感想や質問を受ける仕組みを設け、それらに対する感想や質問に対するフィードバックを定期的に行うように工夫した。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 簿記論 I（2 単位）、主たる配当年次：2 年生
②内容・ねらい 本講義では、簿記原理の内容(日商簿記 3 級レベルの内容)は理解していることを前提に日商簿記 2 級レベルの内容について学習を行う。本講義は実質的に簿記原理と連続した内容となっており、株式会社簿記の前半部を扱うことになる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 受講生が知識を定着させることができるようにするための工夫として、オンデマンドの講義ビデオ教材の利用や毎回のアンケートを実施した。また、Google form を通じて、受講生が質問できるようにし、その質問に対するフィードバックを定期的に行うように工夫した。毎回の講義冒頭で、前回の振り返りやアンケートに対するフィードバックを行うなど、学生の学習威容を高める工夫を行った。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 簿記論 II（2 単位）、主たる配当年次：2 年生

②内容・ねらい
本講義では、簿記原理の内容(日商簿記 3 級レベルの内容)は理解していることを前提に日商簿記 2 級レベルの内容について学習を行う。本講義は実質的に簿記原理と連続した内容となっており、株式会社簿記の後半部を扱うことになる。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
受講生が知識を定着させることができるようにするための工夫として、オンデマンドの講義ビデオ教材の利用や毎回講義後のアンケートを実施した。また、講義では発展的な内容を扱い受講生の応用力を高めるために、新聞記事などを利用して学習内容と関係する実際的な話題についても紹介を行った。

(2)その他の教育活動

内容
特別企画講座 B（実務から学ぶ会計と税務）の運営を徳前元信教授，木下和久准教授とともに行った。

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【　本】

②学術論文（査読あり）

山下知晃「日本企業に関する条件付保守主義の計測 : Basu モデルの問題点とその修正アプローチに関する検討」『経済経営研究』, 第 46 号, 25-51 頁, 2023 年.

【1 本】

③　その他論文（査読なし）

【　本】

④　学会発表等

山下知晃、「日本の条件付保守主義：定型化された事実の再検証」、日本経済会計学会第 4 回秋季大会、2023 年 12 月 16 日.

山下知晃、「日本の条件付保守主義：定型化された事実の再検証」、日本会計研究学会第 149 回中部部会、中部大学春日井キャンパス、2023 年 6 月 24 日.

【 2 件】

⑤　その他の公表実績（セミナー等での報告）

山下知晃、「Underreaction, Overreaction, or Correct Reaction to goodwill impairment announcements? Evidence from Japan」、東大・NTU 合同カンファレンス、東京大学本郷キャンパス小島ホール、2023 年 11 月 20 日.

山下知晃、「The Effect of Recognizing Off-balance Sheet Liabilities on Financial Leverage Choice: Evidence from Pension Accounting in Japan」、会計研究会、舞鶴西公民館、2023 年 10 月 21 日.

山下知晃、「日本の条件付保守主義：定型化された事実の再検証」、会計学サマーセミナーin 九州、九州大学病院キャンパス、2023 年 8 月 10 日.

山下知晃、「The Effect of Recognizing Off-balance Sheet Liabilities on Financial Leverage Choice: Evidence from Pension Accounting in Japan」、資本市場・企業統治研究会、関西学院大学梅田サテライトキャンパス、2023 年 10 月 21 日.

【 4 件】

その他、学部内の研究会でもセミナー報告を行った。

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

（外部）【研究分担者】

科学研究費助成事業 基盤研究(B)（「のれんの会計方法に係る当事者の認知についての理論および実態調査研究」）、2022 年 4 月より継続中。

（内部）【研究代表者】

令和 5 年度戦略的課題研究推進支援

令和 5 年ステップアップ研究支援（個人研究推進支援）

(3)特許等取得

(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

公開講座・会計学入門講座 2023 講師（一般向け 1 回、高校生向け 1 回）.
藤島高校「学問発見講座」講師.
武生東高校・探求学習コメンテーター.

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
情報教育・DX 委員会、輸出管理委員会
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など